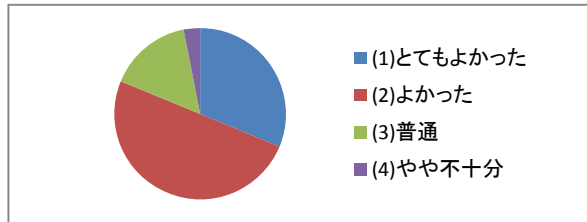


平成25年度兵庫県大学図書館協議会研究会(平成25年11月8日)
「電子書籍と大学図書館:ブレイクスルーの条件を探る」
アンケート結果(回答数:32)

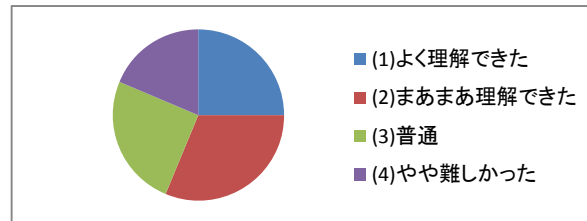
Q1_今回の研究会の内容について

	回答数	割合
1 (1)とてもよかった	10	31.25%
2 (2)よかった	16	50%
3 (3)普通	5	15.63%
4 (4)やや不十分	1	3.13%
5 (5)不十分	0	0%
0 (0)無回答	0	0%



Q2-1_講演の難易度など、講演1:牛口順二氏

	回答数	割合
1 (1)よく理解できた	8	25%
2 (2)まあまあ理解できた	10	31.25%
3 (3)普通	8	25%
4 (4)やや難しかった	6	18.75%
5 (5)とても難しかった	0	0%
0 (0)無回答	0	0%

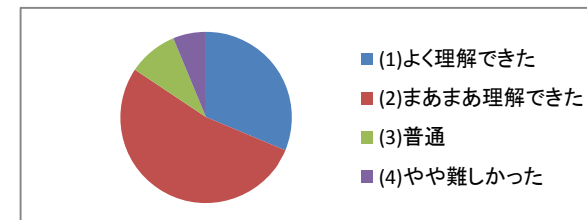


Q2-2_感想など

- ・説明してくださる速度が少し速かったように思います。
- ・最新の業界情報について教えて頂き勉強になりました。
- ・日本における電子書籍の過去や現状の話が聞けてよかったです。
- ・過去を踏まえての今後の展望はとても興味深く聞けました。
- ・早すぎてスライドが結構とんでいくので、あらかじめ予習しておかねばならない感じがした。ですが、色々出版事情が知れて、書店側の目線が知れて勉強になりました。

Q3-1_講演の難易度など、講演2:鈴木道典氏

	回答数	割合
1 (1)よく理解できた	10	31.25%
2 (2)まあまあ理解できた	17	53.13%
3 (3)普通	3	9.38%
4 (4)やや難しかった	2	6.25%
5 (5)とても難しかった	0	0%
0 (0)無回答	0	0%

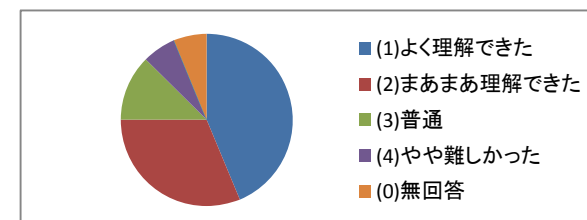


Q3-2_感想など

- ・「大学図書館への期待」は、なるほどと思いながら、大変興味深く聞かせていただきました。
- ・出版社側の考えが理解できた。
- ・学術書を出版されている方と大学図書館はもっと協力しあえることがあるのでは強く感じました。ありがとうございました。ご苦労もよく分かりました。
- ・有斐閣で取り組んでおられる電子書籍の具体例がわかりました。
- ・電子化にかかるコストなど、図書館側でさえまだまだ理解不足なのだと言うことが分かりました。
- ・出版側の色々な話がわかり易くきけて良かったです。ただ図書館に求められるものが厳しいなあ、とも思いました。(某大学さんの値段程ではないかもしれないですが)本学では予算が厳しく、財産として残らないデータベースや電子は一切入れることが出来ず、業務全般を1人で切りもりせねばならず、とてもSNS等に手が出せない現状があったりします。HPすらないなどもあったり...ですので、要望に応えられないような図書館さんも有ると思います。すいません。

Q4-1_講演の難易度など、講演2:鈴木哲也氏

	回答数	割合
1 (1)よく理解できた	14	43.75%
2 (2)まあまあ理解できた	10	31.25%
3 (3)普通	4	12.5%
4 (4)やや難しかった	2	6.25%
5 (5)とても難しかった	0	0%
0 (0)無回答	2	6.25%



Q4-2 感想など

- ・電子化の影の部分が興味深かったです。最後時間が足りず説明が走ってしまったところが残念でした。
- ・教育・知識の根幹に関わるお話、刺激的でした。所々勉強不足で…学生が冊子体の本を読まなくなっているの、少しでも電子で入門的に文章を読んでくれればと思います。
- ・学術コミュニケーションの狭域化の話や、電子書籍の問題点の話が興味深かったです。
- ・実際に電子書籍アプリを作られた上でのお話はとても興味深かったです。
- ・ローマ史専攻でしたので、皇帝の系図は自分で作った記憶があります。西洋の事典がすごく読みたくなりました。全体的に、とても興味深かったです。無料と有料は難しい問題で参考になりました。

Q5_今回の研究会についてご意見など自由記述

- ・こちらの理解が足りていなかったのもう少し勉強したい。お三方の話はとても興味深かった。ただ、それが業務でどう結びついていくかはよくわからない。
- ・専門家のお話を聞けたことはよかったです。今後もこのような体験に基づく内容のお話が聞きたい。
- ・席が後ろのせいかわきづらかったです。もう少し音量が大きい方が良かったです。各講演の合間に休憩を入れた方が良かったとも思いました。
- ・色々な切り口からのお話が聞けたので大変有意義でした。
- ・テーマについて理解を深めることができ、3講演と質疑応答で、充実した内容でした。
- ・電子書籍のあり方から今後図書館はどのように考えなければならぬか考えさせられるものでした。どうもありがとうございました。
- ・難しい内容だったのですが、ていねいな質疑応答があつて良かったです。
- ・デモで実際に見ることができ、良かったです。
- ・様々な側面から電子書籍を考えることができ、勉強になりました。
- ・電子書籍を通して、出版業者の現状が知れて、大変良かったです。
- ・図書館における電子書籍の提供方法の方向がわかりました。
- ・興味深い研究会をありがとうございました。3つの立場から分かりやすいお話をいただき、参考になりました。
- ・電子書籍作成の内容がわかりました。学生の教育にどのように利用されていくのか、利用させるのか、電子書籍も紙の本も変わらないということでした。
- ・電子書籍を扱ったことがないので難しい話もありましたが、電子書籍の良い点、問題点など、いろいろ聞くことができ勉強になりました。
- ・出版者さんが講演されるのは事前にわかっていましたが、もっと大学図書館側の話も聞いてみたかったです。シェアの（電子書籍の）状態や、比率（だいたい平均どのくらい電子を扱っているのか、等）なども含めた話があれば、という程度なのですが。
- ・業界内の事情などが聞けて大変参考になりました。
- ・総論的内容は、図書館関係者であれば、他所でもいくらでも聞いていると思われるので、講演2、3のような各論的内容に特化してほしい。

Q6_今後どのようなテーマで研究会・研修会を希望されるか

- ・ラーニングコモンズでの学修支援や配置するTAへの研修の参考になる内容、図書館職員がTAを研修する際に、実際にイメージが描けるようなもの
- ・図書館の事例報告等も希望します。ユニークな図書館活動等
- ・ラーニングコモンズの真の運営・活用法などの研究会があれば参加してみたいです。
- ・図書館の形態が大きく変化している今、利用者は何を図書館に期待しているのか、利用者の本音はどうか（ラーニングコモンズ、電子化を本当に必要としているのか？もっと必要としているものが他にないのか？）
- ・学生と図書館の関係強化の方法について。より使いやすい図書館にするには、など。
- ・LC見学会 ・電子ジャーナル・オープンアクセスに関する研究会
- ・議論が活発にされている分野・トピックスについての研究会を開催して頂ければと思います。
- ・ラーニングコモンズの事例や、情報利用の援助についてなど。
- ・一方向だけでなく、色々な目線での電子図書館の話がききたいです。

Q7_その他研究会・研修会についてのご意見など

- ・今後も継続してほしい。
- ・今日はどうもありがとうございました。